

【別紙様式 I】 令和7年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立東名中 学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】
---------------	--

校長名 倉橋 一久

学校教育目標	学校経営の方針
自己を確立し より良い社会をつくらうとする生徒の育成	インクルーシブな学校づくりのより一層の推進 「保護者・地域と連携して全ての教職員で全ての生徒を育てる」 1) 確かな学力の向上 2) 自他を尊重し、支え合い、認め合う生徒集団の育成 3) 地域とともにある学校づくり

今年度の重点目標

- 個に応じた学習支援と妥当性・信頼性のある学習評価の実践 ● 教科等横断的な視点に立った「資質・能力」の育成 ● 生徒が主体的・対話的で深く学ぶことのできる授業の工夫 (ICT教育)
- 週末課題等による家庭学習の定着や学習支援による基礎・基本の修得 ● 9年間を見通した小中一貫教育の推進 目指す子ども像「挑戦・共生」
- 「持続可能な社会の創り手を育む教育(ESD)」を意識した教育課程の編成と実践 ● 発達支持的な生徒理解に基づく個に応じた組織的な支援体制の構築
- 基本的な生活習慣の確立と全教育活動を通じた人権教育、道徳教育の推進 ● 生徒の自治的活動の推進と生徒会名誉基調「背中で語れ 心に刻め」の継承
- 異年齢集団による望ましい縦割り活動を通じたリーダーの育成 ● 個に応じた支援による居場所づくりと学びの場の保障 ● 生徒一人一人が所属感を感じられる学級づくり
- 学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりと教育活動への地域力の活用(地域学校協働活動との連携) ● 保護者との教育目標の共有と、協働を通じた信頼関係の確立
- 公民館・支援団体との連携及び地域行事への積極的な参加 ● 学校便り・ホームページによる、学校教育活動の積極的な発信
- 地域清掃などを通じたボランティア活動の推進 ● 防災・減災や安全・安心な学校づくりのための環境の創出

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
分かりやすい授業づくりに努め、基礎学力の向上を図る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確立 ・数学の授業における少人数指導やT.T指導の実施 ・定期テスト前の学習支援 	生徒は落ち着いて授業に臨めており、約8割の生徒が授業が分かりやすいと肯定的な回答している。しかし、保護者の3割は子どもが意欲的に学習に臨めていないと感じており、生徒が分かる授業、進んで取り組める授業づくりをしていきたい。	今後も少人数指導による個々への対応と遠慮なく質問をしやすい環境づくり実施していきたい。また、授業規律を確立し、家庭学習へとつながる授業の工夫によって、基礎・基本を定着させていく。
家庭学習習慣の確立を図る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の課題の徹底 ・単元テスト、小テストの実施 ・定期テストへの計画的な取り組み ・「学習の手引き」の作成 	毎週の課題や単元テスト、定期テスト前の計画的な学習などは定着してきている。保護者は学校の取組に対して、8割近くが肯定的な回答をしている。しかし、保護者が意欲的に学習に臨んでいるととらえられるような取組はまだ十分ではない。今後も生徒への働きかけを継続し、家庭学習の習慣化を促していきたい。	「学習の手引き」の活用を積極的に行い、家庭学習につながる授業の工夫を図る。次年度も毎週の課題を各教科担当が生徒に家庭学習の課題を与える形で進めていく。GIGAスクール端末の持ち帰りによる課題設定も考えたい。また、小学校との連携を図り、三者面談などを通して家庭との協働も進めていく。
自他ともに尊重できる生徒を育成する	2	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳や点字などの福祉体験授業 ・生徒会による人権週間の取組 ・いじめアンケートの実施 ・心のつぶやきアンケート(月1回) 	年度初めに各クラスでいじめ防止のスローガンをつくり、年度途中でその取組を評価する機会をもった。また、人権に関わる様々な取組を計画的に行っているため、生徒の人権意識が高まっていると考えられる。小さなトラブルはあるものの、自分や他人を大切にしていると感じている生徒がほとんどである。	毎月の心のつぶやきアンケートは継続して行い、いつでも相談できる体制は維持していく。また、人権に関わる取組を計画的に行うとともに、日常の活動の中で人権意識を高められるよう指導していく。
保護者・地域の願いに応えられるような教育活動の工夫・改善に努める	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの更新 ・学校運営協議会等の関係団体との連絡会 ・PTA活動 	学校ホームページについては、今年度も多くの閲覧があり、学校だより等の発行もあわせて学校の様子を分かりやすく伝えていることに対して保護者から高い評価を得ていた。学校運営協議会では、十分な討議をすることができ、次年度の教育活動につなげることができた。	学校運営協議会の活性化を図れるよう努め、地域人材の活用や、地域に開かれた教育課程の編成を進めていきたい。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

自己評価や保護者・生徒アンケートの分析結果から、教育活動や課題について概ね妥当であるとの評価を受けた。毎週の課題で計画的な家庭学習の充実や人権週間など生徒の主体的な取り組みをさらに進め、学校ホームページの更新を引き続き行い地域や保護者に発信していけるよう助言をいただいた。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

今年度は、保護者・地域の方々の様々な支援を受けながら、生徒は落ち着いて学校生活を送ることができている。小規模校ならではの縦割り活動も順調に行い、上級生が下級生をリードする姿が見られた。今年度も生徒一人一人の良さを認め、資質・能力をのびさせるよう、教育活動の充実を図り、生徒指導及び教育相談の体制の構築を図ることにより、個々の生徒に対応した教育を進めた。次年度は、個別最適な学び・協働的な学びに向けて～ICTを活用した授業改善～の研究の充実を進めていきたい。